

長畝ふるさと通信



【2024年9月号】

■ 稲刈りは難航しています

9月15日からコシヒカリの刈取を始まりましたが、能登を襲った豪雨は佐渡にも影響しており連日の雨で稲刈りが5日間も止まってしまいました。今年は草丈が異常に高く稲の倒伏を早くから心配していましたが、この大雨で多くの圃場の稲が倒れてしまい黄金色の絨毯の様になっています。こうなるとコンバインでの刈取が難しく大幅に時間をロスするうえ、どうしても機械に負荷がかかってしまい故障が続発するのです。刈遅れを挽回するのに連日必死に頑張っています。



稲が倒れるとコンバインが稲を株ごと引き上げてしまい、無理に進めると株についた泥まで吸い込んで結果、詰まってしまいます。稲が絨毯化した田んぼは田面が乾かないのでドロドロになりコンバインの足回りを埋めてしまい、自由が効かなくなり更にイライラが倍増します。

■ お米の価格は爆上がりしたけど・・・

8月末の「令和のコメ騒動」で一時的に市場でのコメ不足が起きましたが、新米が出回ったおかげで品不足は解消されたようですが、コメの価格は依然として高騰を続けています。一時的なコメ不足から民間のコメ集荷業者がコメを高値で買いあさり、JA全農がそれに対抗して農家の概算金(買取価格)を更に上げたため、相場が下がらないという訳です。生産者からすればコメの価格が上がることは非常にありがたく、「このままずっと続いてほしい」というのが本音ではありますが、果たしてこれまで安いおコメを食べ続けた国民が今の価格帯について来れるのか、逆にコメの消費離れが起きはしないかと心配しています。我が国のコメ政策はコメの消費離れから、毎年1年間に消費が見込める量しか生産できない仕組みになっており、その結果、急な消費増や生産量不足が起こるとキャパオーバーで対処できず、今回のような騒動が起こってしまいます。毎日食べるおコメを市場原理任せに放置してしまった国の責任は大きいと思っています。

市場原理に影響を受けづらい我が社の会員になっていただければ、1年間安心しておコメを食べることができますよ。今年のおコメも食味は良好(80点以上なら合格点)です。新米は10月中旬頃お届けいたします。**おかわりは自由です。**



■ 求む！佐渡移住&コメ百姓

この数年間、毎年人手不足です。特に繁忙期(田植えや稲刈り時期)は人手が足りず、思うように作業が進められない状況が続いています。島内には若手がおらず、島外や外国からの移住者でも農業をやりたい方ならどなたでも大歓迎。ご紹介いただければ幸いです。でも新潟県の最低賃金程度の条件では誰も来ないわな・・・そこは佐渡の自然を存分に味わえるってことでどうでしょうか。